

## 夏合宿 南アルプス：白峰三山

- ◆日程 2022年8月11日(木)～13日(土)  
 ◆メンバー L：ST(俊)、SD(健)、TT、今、WY、DT(あ)、KT

### ■雲上の北岳と雨の大門沢

コロナ影響を横目に2年ぶりの夏合宿を決行した、前夜新宿発の夜行バスが今年から運航しており、広河原集合がより容易になっていた。刻々と天気予報が変化してゆく、3日前まではず

っと晴れ、バス乗車前は曇り後雨に、そして台風接近の報が入る、雨が心配であった。

今回の核心は大門沢下降点からの長い下りであった、縦走達成後の曼心感に加えて降雨による岩濡れが下降を困難にしていた、沢の増水の影響で下山も危ういと感じたが、この経験はとても貴重であった。

(記：ST)



大門沢下降点

### ■8月11日(木) 1日目 (木) 天候：晴れ

山の日ともあって早朝の広河原インフォメーションセンターは大勢の登山者で賑わっていた翌日のニュースでは6時から2時間の間で500人の登山者が訪れたという。

気温はさほど高くないものの台風の影響もあってか湿度も高く歩き始めから暑さを感じる南アルプスらしい樹林帯をまず白根御池まで、樹林の中でも暑く止まらない汗にペースが上がらず多めに休憩を取りながら進みました。白根御池小屋から草滑りに入り北岳まで約1000M上がることとなりますが、ここからは結構な急登を猛暑の中登っていきます。いろんな高山植物に暑さ、キツさも少し和らぎ展望も開け横に見る鳳凰三山が素晴らしい。



白根御池小屋で入れた南アルプスの水が冷たくてとても美味しい。それを体に補給しながら歩き小太郎分岐、広大なアルプスな感じがどんどん伝わってくるメンバーの疲れも一気に吹き飛ばす！そんな景色を頂きました。



小太郎分岐・ここから肩ノ小屋まで楽しい稜線ハイク、テント場の心配もありましたが、肩ノ小屋、予想より良きテント場も確保することができしばし楽しい時間。

夜、雨音がし始め、雨の中のテント撤収スタートとなり降ったり止んだりを繰り返し、北岳山頂を踏む。台風不安もありながらここで私は下山へメンバーは間ノ岳へ向かった。

(記：WY)

CT7:00 広河原-9:45 白根御池小屋-12:40 小太郎分岐-13:10 岳肩ノ小屋

■8月12日(金) 2日目(前半) 天候：雨



2時半起床、深夜は一時強い雨がテントに叩きつけていたが小雨に落ち着いていた。雨の中テントを撤収し、5時前に出発。肩の小屋と北岳との標高差は200mにも満たないが、まだ明るくなりきっていない状況での急な登りやトラバースが続くため慎重に足をすすめ、5時30分に北岳へ登頂！生憎の天気で眺望は楽しめなかったが、皆で登頂を喜んだ。翌日予定のあるWYさんとは残念ながらここでお別れ、チームはまだまだ続く本日の行程に足を進める。

北岳山荘へは7時7分に到着、その頃には雨が止んで青空がちらほら見え始める。電波が入りヤマテンで最新の天気予報を確認したところ、温帯低気圧が関東を直撃の予報、南アルプスの天気もどんどん悪くなる一方とのこと。可能であれば本日中に奈良田まで下山した方がよいという選択肢も頭に入れ先を急ぐ。間ノ岳には9時55分に到着、KTさんにとっては日本百名山の3座目(パチパチ)！農鳥小屋に到着したのは11時46分。農鳥小屋の有名なオヤジさんにも遭遇し、こんな天候の中休憩をしてる時間が

あれば先を急ぐべきだとの叱咤激励と、「Good luck！」の有難いお言葉を頂戴した。

(記：DT)

CT:北岳肩ノ小屋 4:47 - 北岳 5:31/5:48 - 北岳山荘 7:07/7:40 - 間ノ岳 9:55  
- 農鳥小屋 13:44

### ■8月12日(金) 2日目(後半) 天候：雨

お昼前に農鳥小屋に到着し小休憩を取る。農鳥小屋のおやじが他の登山者へ「そっちじゃないよ！」と怒っていた。白いヘルメットにヘッドライトをつけた姿がインパクト抜群だ。我々が出発する際も先頭のSTリーダーが一瞬ルートを確認しようとして小屋に向かって右に行こうとすると「そっちじゃないよ！」と声が聞こえた。その後「雨だから下山する際の樹林帯など通るから大変だぞGOODLUCK」？的なことを言っていた。農取小屋を出発すると長い下りがあり西農取岳を通過し農取岳へようやく到着。農取岳山頂は曇っておりガスで何も見えなかった。雷鳥に会いたかったが残念ながら会えなかった。農取から大門沢へ向かう間、雨の中延々と長い下りハイマツ藪漕ぎ、つるつると滑る岩などがありとても疲れる。2年ぶりに山に来た自分は今回で2回目の使用となるLOWAの登山靴を使用したけど右足かかとにひどい靴擦れが出来てしまったり、古いレインパンツは中まで水が浸透してしまう。装置の大切さを感じた。それでも歩いているとなんとか18:00頃大門沢小屋に到着。SDさんより雨がひどくなってきたこともありテントではなく山小屋(6000円)に泊まろうと提案がありホッとした。満身創痍でテントを張る元気がなかった。その後乾燥室で服を乾かした後、チキンご飯とおすましの夕食と缶ビール(500円)を飲み、少し疲れが回復した。大門沢小屋は2階を使用させてもらったが2階は1人づつ仕切られた布団で、我々山の会のメンバーと山小屋の一人名だけだったのでとても快適で爆睡することが出来た。



最後になりますが久々に山の会に参加させていただきましたがとても楽しく登山することが出来ました。ご同行して下さいましたメンバーの皆様ありがとうございました。(記：TT)

CT:11:46 農鳥小屋-12:45 西農取岳-13:44 農取岳-14:27 大門沢下降点-18:07 大門沢小屋

### ■8月13日(土) 3日目 天候：雨、台風接近



大門沢小屋は急な小屋泊りの要望や、部屋内での朝食調理にも快く応じてくれる、とてもホスピタリティーにあふれる小屋で、とても気持ちよく過ごせた。(トイレ以外は・・・)

昨日から悪化している天候の状況は、断続的に土砂降りと小康状態を繰り返していたが、テント泊から小屋泊りに変更となったお陰で、乾いた布団で心地良く眠ることができた。

しかし、台風は確実に近づき、且つ危険な位置に迫ってきている予報のため、奈良田の一番バスを目指して朝4時には出発することを決定、深夜2時半起床となる。

朝4時15分、小康状態の雨の中、水量を増して昨日より大きく聞こえる沢音を聞きながら、奈良田に向けて出発、沢沿いの濡れて足場の悪い岩場をヘッドン頼りに下る。

わかりにくい道を慎重に進み、渡渉を繰り返す。途中で折れている丸太橋で立ち往生しそうになったが、STリーダー、SDさんの機転で乗り越える。足場も滑るが、それ以上に水量を増した沢の水勢と水音に圧迫を受けながら、何とか乗り切り、更に下って行く。

静かな樹林 帯や、支流の小さな沢、良く揺れる吊橋、3時間～4時間ほど下って、発電所に到着、その後は林道を歩いて奈良田に向かう。

奈良田に近づくほどに雨は勢いを増して、いよいよ土砂降りとなる。

近くに、遠くに、雷鳴も聞こえて、いよいよ悪天極まれり・・・と言ったところでようやく奈良田に到着、「奈良田の里温泉 女帝の湯」の軒下で温泉オープン(9:00)を待つ。



バスは9時50分なので「ゆったり・・・」浸かっている時間はないな・・・と思っていたら、気を利かせてくれて少し早くオープンしていただいた。感謝、感謝。

ヌルッとした少しヌルめのお湯に浸かり、汗を流し、予定通りに一番バスに乗り込んで山深い南アルプスの懐を後にすることとなった。(記:KN)

CT: 大門沢小屋(4時15分) - 早川水系発電所(7時20分) - 大門沢ゲート(8時5分) - 奈良田駐車場(8時27分) - 奈良田の里温泉(8時35分) - 奈良田バス亭(9時50分)

## ■大門沢の渡渉

3日目、大門沢から奈良田への下降の際、沢の渡渉箇所が幾つかあった。簡易な橋が架かっていたが一カ所橋の真ん中で折れていた。橋の右端上空2mに川幅でロープが張られていたが、ロープの位置が右寄り過ぎて掴むとバランスが取りづらい。

また雨で沢が増水していたため沢に落下すると流される危険があった。

そのため180cmスリングと環付きカラビナでシートバンドによる簡易ハーネスを作り、ロープにカラビナを掛けて橋を渡る。

その際6mm 10m細引きをロープ側カラビナに付けて渡渉後に戻せるようにした。

非常時に備えて各自スリング、カラビナ2セットを、リーダーは10m程度の細引きを携帯することが望ましい。同時に簡易ハーネスの作り方やロープワークなど各自出来るようにしておく必要がある。



(記:SD)

■食事考察

～食事メニュー～

1日目 夜：レトルトカレー(2袋分)+ドライソーセージ+α米5食

2日目 朝：味噌ラーメン5食分(粉末スープ2袋分)+フリーズドライの味噌汁5パック分  
(食当:KT)

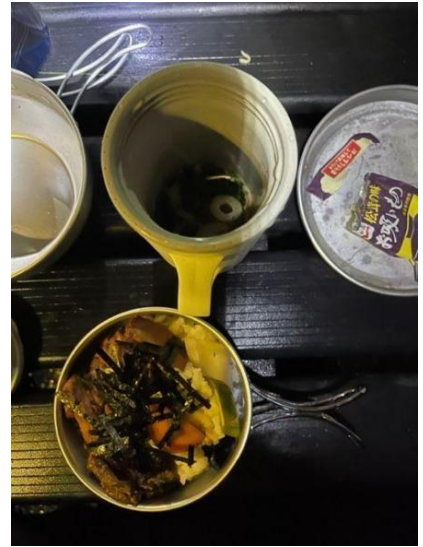
2日目 夜：チャーシュー丼+漬物+α米4食+お吸い物(6人分)

3日目 朝：塩ラーメン(4食分)

(食当:DT)

～食事全体を通しての感想～

- ・夜、朝ともに、参加人数-2の量で問題なかった(宴会での食事後・行動後の体にはちょうど良いくらい)
- ・1日目夜) ゴーゴーカレーを持っていたので、2袋に対して5食分でちょうどよかった(味が濃いため)ドライソーセージは、DTさんから頂いたが、カレーとの相性も良く、そのままでもおつまみになる味であったので、おすすめ。
- ・2日目朝)味噌ラーメンの具は、フリーズドライの味噌汁をそのまま使うことで、個々に具材を持ってくる手間が省けた(なおかつ重くもない)ただ、味噌ラーメンの粉末スープと味噌汁の濃さに味が左右されるため、事前の試作が必要。
- ・2日目夜)チャーシューは冷蔵で売っていたものを一度冷凍→解凍した状態で持ってきていた。夏山でもあまり気温が高くなかったので、使える手立てだと思われる。
- ・3日目朝)塩ラーメンの中でも、「北京風 塩拉麺」という、ほんのりエビっぽい味のするラーメンであった。
- ・片の小屋・大門沢小屋の両方でアルコール類・コーラ等のソフトドリンクが買えたので、お酒類は持ってこなくても何とかあった(捨てる場所も確保されていたので、飲み終わってもごみの心配はする必要がなく、ありがたかった)



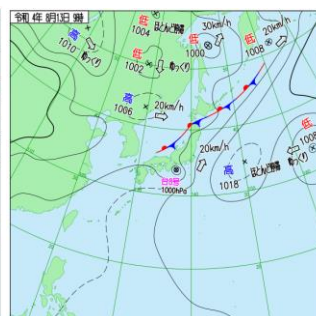
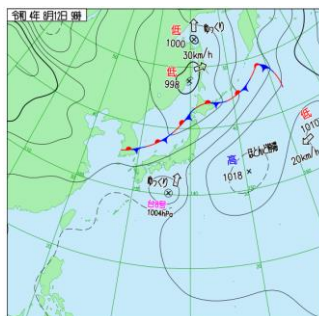
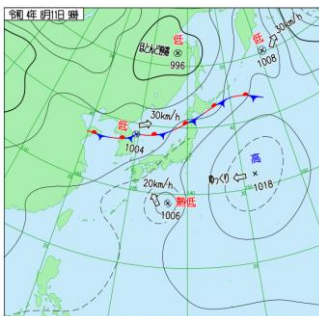
(記:KT)

■気象について

8/11

8/12

8/13



8/11 晴れ 夜から雨

8/12 曇りのち雨

8/13 雨 台風8号の影響で8/12頃から雨風ともに強くなった